

■コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は1.91人と、例年同時期と比較して多い状態となっています。

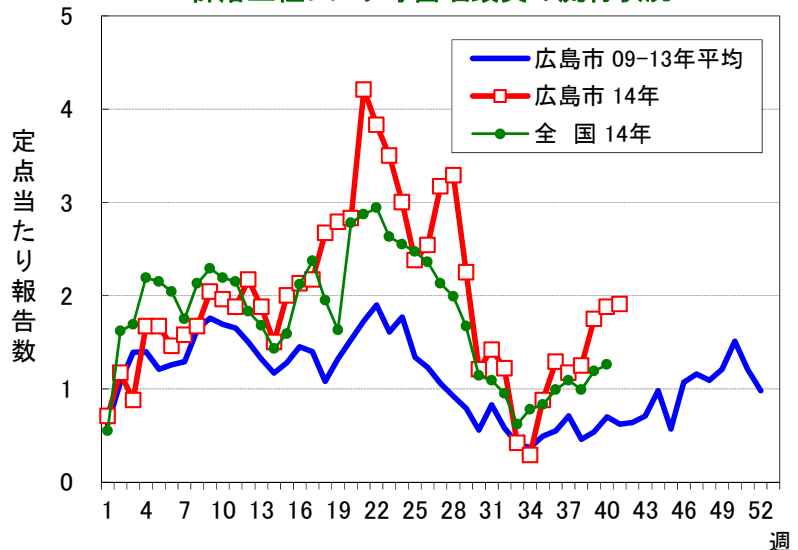
この疾患は、A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされ、2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、喉の痛みによって発症し、嘔吐を伴うことがあります。

秋から冬にかけて患者発生が多くなる傾向にありますので、患者との接触による感染を予防するため、マスク着用や手洗い・うがいの励行に努めましょう。

2. RSウイルス感染症

定点当たり報告数は0.78人と、前週と比べて減少しました。しかし、冬期に向けて再び増加する可能性があるため、今後も引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	1.72		小児科	流行性耳下腺炎	18	0.78	0.72	→
小児科	咽頭結膜熱	7	0.30	0.23		小児科	RSウイルス感染症	18	0.78	0.61	↓
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	0.62	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	69	3.00	3.40	↗	眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.68	
	水痘	14	0.61	0.64	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	17	0.74	0.59	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.12	
	伝染性紅斑	-	-	0.03		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
	突発性発しん	11	0.48	0.56		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.15		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.18							

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	134	男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	2	5	男性(30歳代)・B型、男性(40歳代)・B型

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第37週 第38週 第39週 第40週 第41週	インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第37週	-	4	28	89	20	32	-	10	2	8	11	52	-	10	-	2	1	-	-
		第38週	-	6	30	59	17	20	-	10	1	9	17	57	1	13	-	-	2	-	-
		第39週	6	4	42	70	16	16	-	9	2	3	18	29	-	10	-	-	-	-	-
		第40週	1	9	45	64	16	24	-	12	-	3	19	42	1	13	-	-	-	-	-
		第41週	-	7	44	69	14	17	-	11	1	4	18	18	-	6	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第37週	-	0.17	1.17	3.71	0.83	1.33	-	0.42	0.08	0.33	0.46	2.17	-	1.25	-	0.29	0.14	-	-
		第38週	-	0.25	1.25	2.46	0.71	0.83	-	0.42	0.04	0.38	0.71	2.38	0.13	1.63	-	-	0.29	-	-
		第39週	0.16	0.17	1.75	2.92	0.67	0.67	-	0.38	0.08	0.13	0.75	1.21	-	1.25	-	-	-	-	-
		第40週	0.03	0.38	1.88	2.67	0.67	1.00	-	0.50	-	0.13	0.79	1.75	0.13	1.63	-	-	-	-	-
		第41週	-	0.30	1.91	3.00	0.61	0.74	-	0.48	0.04	0.17	0.78	0.78	-	0.75	-	-	-	-	-
	全国	第39週	0.07	0.27	1.19	2.92	0.56	0.66	0.15	0.55	0.01	0.63	0.29	0.94	-	0.48	0.01	0.04	0.28	0.01	-
		第40週	0.07	0.27	1.26	3.13	0.59	0.71	0.16	0.56	0.01	0.50	0.30	0.92	0.01	0.55	0.01	0.04	0.26	0.01	0.01

■STD(性感染症)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

報告数	広島市	8月	STD(性感染症)定点												基幹定点											
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性アシネ バクター感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
			18	17	1	16	11	5	7	6	1	22	20	2	26	17	9	2	0	2	0	0	0	2	2	0
定点当たり	広島市	9月	29	24	5	7	6	1	7	7	0	8	7	1	19	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8月	2.00	1.89	0.11	1.78	1.22	0.56	0.78	0.67	0.11	2.44	2.22	0.22	3.71	2.43	1.29	0.29	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.29	0.29	0.00
		9月	3.22	2.67	0.56	0.78	0.67	0.11	0.78	0.78	0.00	0.89	0.78	0.11	2.71	1.86	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	全国	9月	2.31	1.17	1.13	0.78	0.28	0.50	0.50	0.31	0.20	0.94	0.71	0.23	3.20	2.00	1.21	0.30	0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.05	0.03	0.02

定点数 STD定点 9 基幹定点 7

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の消化器疾患	発熱(37.9) 嘔吐 腹痛 腸重積	2	男	2014/08/30	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス1型
その他の消化器疾患	嘔吐 腸重積	0	男	2014/08/31	咽頭拭い液	エコーウイルス11型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】デング熱の国内感染症例について

●国内でデング熱に感染した人の居住地

都道府県名	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県	新潟県	大阪府	茨城県	山梨県	静岡県	北海道
症例数	103	14	13	7	3	3	2	2	2	1
都道府県名	青森県	岩手県	秋田県	群馬県	兵庫県	山口県	愛媛県	高知県	計	
症例数	1	1	1	1	1	1	1	1	158	

推定感染地は、東京都内の代々木公園周辺や新宿中央公園など146名、千葉市1名、兵庫県西宮市1名、不明10名です。

厚生労働省発表(2014年10月14日現在)に基づく

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
 URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp